

Amadeus Orchester Tokyo  
東京アマデウス管弦楽団

第91回演奏会 Das 91. Konzert

石川星太郎 指揮 Seitaro ISHIKAWA, Dirigent

金川 真弓 ヴァイオリン独奏 Mayumi KANAGAWA, Violine



マックス・ブルッフ Max Bruch  
ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調  
Violinkonzert Nr. 1, g-Moll, op. 26

アントン・ブルックナー Anton Bruckner  
交響曲第6番 イ長調  
Sinfonie Nr. 6 A-Dur, WAB 106

**2020年3月1日 (日) 14:00開演 (13:30開場)**  
**ミュージア川崎 シンフォニーホール**

JR川崎駅下車徒歩3分または京急川崎駅下車徒歩8分

入場料 2000円 (全自由席 未就学児は入場できません)

チケットのお問い合わせ 東京アマデウス管弦楽団

info@tokyo-amadeus.jp

http://tokyo-amadeus.jp

e+(イープラス) http://eplus.jp



# 東京アマデウス管弦楽団 第91回演奏会

2020年3月1日(日) 14:00開演 (13:30開場)

ミューザ川崎 シンフォニーホール 指揮 石川星太郎

## 石川星太郎 指揮 Seitaro ISHIKAWA

東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学デュッセルドルフ指揮科卒業。藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2011、2012年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2015年国際リヒャルト・ワーグナー協会奨学生。2016年第1回フェリックス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール第2位受賞。

レパートリーはバロックから現代音楽まで幅広く、国内外で新作初演も積極的に行なっている。2006年から2016年まで武生国際音楽祭(音楽監督:細川俊夫)に指揮者、ピアニストとして毎年出演。2016年サントリー芸術財団サマーフェスティバル国際作曲家委嘱シリーズ「カイヤ・サーリアホ」に出演。2018年にはハンブルク州立歌劇場にてペーター・ルジツカのオペラ「ベンヤミン」の副指揮を務め、世界初演の成功に貢献する。

これまでに読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ケルン放送管弦楽団、ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレン、ベルギッシュ・シンフォニカー等を指揮している他、故ゲルハルト・ボッセのアシスタント指揮者としての任も担い、2013年以降



はその後任として神戸市室内管弦楽団の3月定期演奏会などの指揮者を務めている。指揮を田中良和、ハンス=マルティン・シュナイト、ゲルハルト・ボッセ、リュディガー・ポーンに、ピアノを林達也、ユーラ・マルグリシ、コレペティウアをゲルハルト・ミヒャルスキ各氏に師事。

## 東京アマデウス管弦楽団

### Amadeus Orchester Tokyo

1973年に結成され2019年11月に第90回演奏会を迎えた老舗のアマチュアオーケストラ。結成メンバーは70代に突入するも20代メンバーも多い。職業も会社員から研究者、医師、法律家と多岐に渡るが、音程は多岐に渡らないよう日々努力している。当初は、ヴィオラ奏者で指揮者の玉置勝彦氏の指導と指揮により活動。1992年にはオーストリア演奏旅行を挙行し、ウィーンのみづきフェライン(楽友協会)大ホールで演奏した。レパートリーは多岐にわたるが、いわゆる「ドイツもの」を特に得意とする。声楽つき楽曲への志向も強く、10回ごとの記念演奏会ではウェーバー『魔弾の射手』全曲、モーツァルト『魔笛』全曲、ビゼー『カルメン』全曲、プッチーニ『ラ・ボエーム』全曲を演奏している。また、ブラームス「ドイツ・レクイエム」(合計3回)、マーラー「復活」などを演奏している。

近年では、巨匠故ゲルハルト・ボッセ氏を始め、三石精一氏、ジェフリー・リンク氏、故クルト・グントナー氏、石川星太郎氏、川崎嘉昭氏など演奏会ごとに客演指揮者を迎え、年2回の定期演奏会や特別演奏会を行う。石川氏は2012年第77回、2013年第78回、2015年第82回演奏会、2018年第87回演奏会に次いで5回目の登場であり、これは団員一同の信頼が篤いことの証左である。82回第5番、87回第4番、91回第6番と、ブルックナーが続いているのも興味深い。石川氏と我々でブルックナーを続けるのか、レパートリーを広げるのか、今後の展開にもぜひ注目頂きたい。写真は第82回演奏会、石川氏とブルックナー交響曲第5番を演奏している模様である。

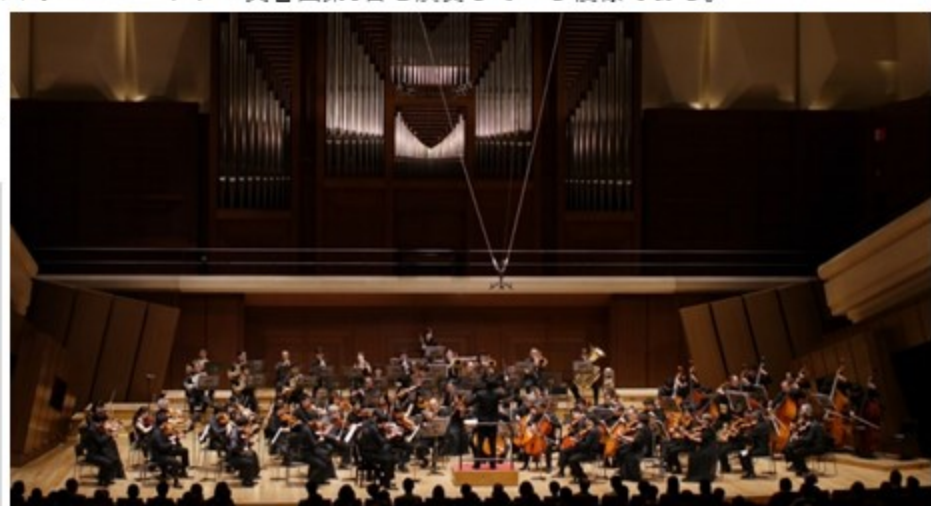


Photo: Francisca Blaauboer

## 金川真弓 ヴァイオリン独奏

### Mayumi KANAGAWA

ドイツ生まれ。4歳から日本で名倉淑子に師事し、ジュリアード音楽院プレカレッジで川崎雅夫、ロサンゼルス・スクールでロバート・リップセットに師事。現在はベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーのもと研鑽を積む。

2019年チャイコフスキー国際コンクールで第4位を受賞し、大きな話題を呼ぶ。このほか、2018年ロン・ティボー国際音楽コンクール第2位入賞&最優秀協奏曲賞受賞、2016年プリンセス・アストリッド・コンクール優勝、2013年ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリン・コンクール優勝など優秀な成績を収め、国際的に高い評価を得ている。

これまでに、ハンス・リントウ指揮フィンランド放送交響楽団、アレクサンダー・シェリー指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、モデスタス・ピトレンス指揮リトアニア国立交響楽団のほか、マリンスキー劇場管弦楽団、プラハ放送交響楽団、クレメラータ・バルティカ、ロサンゼルス室内管弦楽団等のオーケストラと共演を重ね、ヴェルピエ、イエロー・バーン、アスペン等の音楽祭にも出演している。

使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金から貸与されたペトラス・ガールネリウス(マントヴァ、17世紀後半製作)。

#### 今後の予定

- 麻生合唱団 第29回定期演奏会  
2020年6月7日(日) 午後公演 多摩市民館大ホール  
指揮 松下京介  
カール オルフ 「カルミナ・ブラーナ」
- 第92回演奏会 2020年10月25日(日) 午後公演  
横浜みなとみらいホール 大ホール  
指揮 三石精一 曲目未定
- 第93回演奏会 2021年2月21日(日) 午後公演  
すみだトリフォニーホール 大ホール  
指揮 川崎嘉昭 曲目未定 ほか